

学図研・東京支部 2020 年度活動方針

2020 年 6 月 28 日

1. 学校図書館の活性化をめざして、資料提供を追求し、理論化をすすめよう。
貸出五条件についての検証をし、話し合いを続けていこう。
2. 支部会では、テーマを決め、内容・担当者・司会などの活動計画を半年（9 月・1 月）ごとに立て、会員の実践を発表し研修に努めよう。新しい本の情報を交換し、教科との連携を追求しよう。
3. 他支部と交流しよう。東日本ブロック集会に参加しよう。
4. 編集長のもと、紙面作りのため積極的に原稿を寄せ、支部ニュースの充実に協力しよう。
5. 会員同士のコミュニケーションのため、支部の HP、メーリングリストを活用しよう。
6. 学校司書と教職員との協働の在り方について勉強しよう。
7. 学校図書館法改正後の動きに注目し、引き続き望ましい学校図書館職員像について追求していこう。会計年度任用職員制度に関する動きに注目し、学校司書配置状況調査に取り組もう。
8. 公立の学校図書館職員問題や学校図書館に関わるさまざまな問題に積極的に取り組み、他団体と連携協力していこう。
9. 新入会員、とりわけ未来を担う若い会員を大勢迎え入れよう。積極的に会の運営に関わろう。
10. 支部会員は積極的に学図研全国会員になろう。
11. 次年度の役員体制を確立し、皆が積極的に役員を経験しよう。
12. 新型コロナウイルスへの対応について、情報を交換しよう。

【2020 年度役員】

支部代表：佐藤敏子

全国事務局次長（HP 担当）：青野由美

全国事務局次長（渉外担当）：鳴川浩子

全国委員：千田つばさ

編集長：歌川美歌

副編集長：田中美智子、村上恭子、岩本侑子、前田紀子

記録：持ち回り

会計：谷口裕美子

HP 担当：清水紀子

印刷発送・メーリングリスト：佐々木愛

監査：豊泉聡美（前回会計を担当した人になる）

【他団体との連携】

東京の図書館をもっとよくする会：菊池保夫

調査係：宮崎伊豆美

2020 年度総会確認事項

1. 各役員の仕事

支部代表：・総会のとりまとめ、活動方針・活動報告の作成

- ・全国ニュース（8月号）に「各地の状況報告」の報告原稿作成
- ・入退会や外部など、なにかあった時の連絡対応
- ・ニュース発送の封筒に氏名・（所属の）住所が掲載される

全国委員：・全国委員会への出席、協議、全国と支部の橋渡し

編集長、

副編集長：・支部ニュースの原稿依頼、編集、校正

- ・支部会案内の作成

会計：・5～6月 次年度の会費納入のお知らせ／決算報告・次年度予算作成

- ・7～8月 未納の会員への連絡
- ・通年 会費の受け取り、支出への対応、名簿の管理
- ・支部会に毎回参加できなくても、役員で協力すればできる仕事です。

HP担当：・HPの更新（支部会のお知らせ、支部ニュースの目次の転載）

- ・HPに届いたメール（入会申し込み・問い合わせ）への対応

印刷発送・メールングリスト：・支部ニュースの印刷と発送（希望者と寄贈など）

- ・支部ニュースのメールでの配信
- ・メールングリストの管理、発送用名簿の管理

監査：・年度末に会計監査をする

2. 購読会員について

・地理的に支部会への出席が難しい都外の方のみ、支部ニュースの購読会員になることができる。メールでのPDF配信の場合、会費は1000円。2021年度の総会で、会則に会費等を掲載する。

3. 会費について

- ・繰越金が会費収入の2倍程度に減ったら、予算の使い方や会費の金額について検討する。
- ・2021年度より、支部ニュースの発送費用を1500円とするように会則を変更する。

4. 役員輪番制について

・会員全体で会を支えていく体制を作っていく。任期を原則2年にして毎年入れ替えていく。名簿を整備し、2021年度より順番に役員について打診していくようにする。立候補は

妨げない。

5. ニュース原稿について

- ・支部ニュースの原稿について、なるべく1年に1回は執筆するようにする。

6. 東京の小中学校の学校司書配置状況調査について

- ・これまで実施していた「学校図書館を考える全国連絡会」での調査を引き継ぐよう、準備していく。